

INFORMATION

短期留学プログラム入学式が行われました

10月1日(金)「小樽商科大学短期留学プログラム(YOUC)」特別聴講学生の入学式が言語センターのマルチメディアホール1で行われました。

本学短期留学プログラムは、本学と外国の大学との学生交換協定に基づいて受け入れた留学生に対し、原則として英語による授業を行うプログラムで、平成11年度から実施しているものです。

今回入学した留学生は、協定大学(東北财经大学、蘭州大学、ウエスタンミシガン大学、サウスダコタ大学、ミューレンバーグ大学、オタゴ大学、パイロイト大学、ベルリン経済大学、ウィーン経済大学、エクス=マルセイユ法・経済・科学大学、ロシア国立極東総合大学、ブルゴス大学、



ビフロストビジネススクール)からの28名です。

入学式では、秋山学長はじめ、山本、和田両副学長、江口国際交流センター長、岡崎事務局長など関係者が列席しました。来校した留学生たちに対し、さまざまな人々と積極的に触れ合い有意義な1年間を送ってほしい旨の式辞を、秋山学長は

英語で述べられました。引き続き江口国際交流センター長からの挨拶の後、学校別の留学生紹介があり、和やかな雰囲気の中に終了しました。

入学式終了後、オリエンテーションが行われ、これからの留学生活や授業等についての説明を受けた後、日本語クラス分けテストおよびキャンパスツアーが行われました。

平成17年度入学試験日程のお知らせ

小樽商科大学では、次の日程で平成17年度入学試験を実施します。

商学部(昼間コース及び夜間主コース)

選抜区分	コース	出願期間	選抜期日	合格発表
推薦入学	昼間	17.1.13(木) ~17.1.20(木)	大学入試センター試験の成績と書類審査により判定します	17.2.8(火)
帰国子女・中国引揚者等子女・私費外国人留学生特別選抜	昼間		17.2.10(木)	17.2.22(火)
一般選抜(前期日程)	昼間・夜間主		17.2.25(金)	17.3.8(日)
専門高校・総合学科卒業生選抜	昼間	17.1.24(月) ~17.2.2(水)	17.2.25(金)	17.3.8(日)
一般選抜(後期日程)	昼間・夜間主		大学入試センター試験の成績と書類審査により判定します	17.3.22(火)

夜間主コース推薦入学・社会人特別選抜は終了しました。

大学院商学研究科(アントレプレナーシップ専攻(ビジネススクール)及び現代商学専攻)

選抜区分	出願期間	選抜期日	合格発表
アントレプレナーシップ専攻(後期)、現代商学専攻(一般選抜・外国人留学生特別選抜)(後期)	17.1.5(水) ~17.1.19(水)	17.2.11(金)・12(土)	17.2.18(金)

前期入学試験は終了しました。

学生募集要項の請求方法など
入学試験に関するお問い合わせは、次の担当までお願いします。

入試課入学試験係
TEL: 0134-27-5254
E-mail: nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

商学部入学試験に関する情報: <http://www.otaru-uc.ac.jp/hnyu1/>
アントレプレナーシップ専攻に関する情報: <http://www.otaru-uc.ac.jp/master/bs/index.htm>
現代商学専攻に関する情報: <http://www.otaru-uc.ac.jp/master/gs/gs.html>

小樽商科大学公開講座
【外国人による集中韓国語講座】

と き: 12月3日(金)~毎週金曜日、全6回。
18時30分~20時30分(2時間)

ところ: 小樽商科大学
内容: 簡単な挨拶や会話など、
韓国語の基礎について学びます。

受講料: 7,200円
申し込み・問い合わせ: 学務課 教育課程改善係
電話 / 0134-27-5240
Fax / 0134-27-5243
e-mail / kaizen@office.otaru-uc.ac.jp

北洋銀行と
企業再生寄附研究部門設置の
協定調印式を実施

本学は、北海道の最大地方銀行である北洋銀行と企業再生をテーマにした寄附研究部門を本学ビジネス創造センターに設置することで合意し、10月22日(金)に北洋銀行本店において調印式を行いました。

本研究部門では、「北海道企業の倒産および企業再生に関するケース分析」をテーマにして、本学大学院の教員と同行が派遣する幹部行員の2名を配置し、本学における研究資源の蓄積と同行における豊富な経験を融合させます。それにより北海道における廃業・倒産の実態、更には企業再生に至るプロセスを追求することを通して、当該分野における知見を豊かにし、それを社会的な知的共有財産とすることを目的としています。

本研究部門は、本学において初めての寄附研究部門です。全国の国立大学でも、企業再生をメインテーマとする寄附講座・研究部門の設置は初めての試みであり、この産学連携による研究部門において成果をあげることにより、長期低迷している北海道経済の活性化に貢献することが期待されています。本学としても、地域と連携した積極的な研究活動を担う同研究部門を充実させて多くの成果を上げる所存です。

編集後記 先ずもって、台風18号や新潟県中越地震等による被災者の皆様に対して、心から御見舞いを申し上げます。さて、今号では「国際交流」を特集。この一方で、今春、新たにスタートしたアントレプレナーシップ専攻の授業内容も紹介しています。御批判頂ければ幸いです。(Y.T)

編集スタッフ 中 善宏、小林敏彦、田野有一、羽村貴史、持田立男

【ご意見・ご要望のお願い】
広報委員会では、読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より良い広報誌を作成する所存です。取り上げてほしい話題、質問したいことなど何でも結構です。下記にお寄せください。
E-mail: kouhou@office.otaru-uc.ac.jp FAX: 0134-27-5213

URL: <http://www.otaru-uc.ac.jp>